

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：広報広聴委員会（和泉市府中町二丁目7番5号）電話：0725-99-8154（議会直通）

和泉市議会ホームページアドレス：<http://www2.gikai-web.jp/izumi/index.html>

平成23年第2回定例会は6月16日開会の予定です



定例会本会議の風景（左上写真は小野林議長）

第1回定例会

平成23年度当初予算を可決

平成23年第1回定例会が2月28日から3月25日までの26日間の会期で開催されました。

今定例会では、「和泉市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について」を含む議員提出議案、新年度の予算及び予算関連議案などが上程され、それぞれ慎重な審査が行われました。

開会初日には、市長より市政運営方針が披瀝され、各会派を代表し、4人の議員が大綱質疑を行いました。

その後、22日に市長は「和泉市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について」と「和泉市下水道条例の一部を改正する条例制定について」の議案2件を撤回しました。

目次

- 大綱質疑
..... 2ページ
- 常任委員会審査報告
..... 3ページ
- 予算審査特別委員会
..... 4～5ページ
- 一般質問
..... 5～7ページ
- 次回定例会の予定、他
..... 8ページ

大綱質疑

開会初日の市長の市政運営方針に対して、各会派を代表して4人の議員が大綱質疑を行いました。
ここでは紙面の都合上、一部要約して掲載します。

上下水道料金の10%減額について

五月会

杉本 淳 議員

【議員】 この減額による本市民への経済的効果があるのか。

【市長】 一般家庭で平均使用水量を1ヶ月約20㎥とすると上下水道の両方で軽減額は年間で5,724円である。

【議員】 この事業についての「検証」はするのか。

【市長】 事後においてアンケート調査等により市民からご意見を伺うなどの検証を行い、今後の市政運営の参考としたいと考えている。

機構改革の目的と内容について

市民クラブ

藤田 充 議員

【議員】 全国的に就職難が続き、大阪府では昨年12月で求人倍率が0.59倍を示している。トリヴェール和泉西部地区はまだ大半が未利用のままであり、企業誘致は、法人税など市税の増収や市民の雇用拡大に繋がる。和泉市として、企業誘致を行う場合の企業にとって魅力ある誘致策の実施等が必要になるものと考えてるが、特効薬となる秘策はあるのか。

【市長】 トリヴェール和泉西部地区では、現在、工業系の施設が立地する「特

【議員】 単に公約だからと言う単純な理由でなく、この政策が市民生活に効果があると思うのであれば、なぜ単年度だけでこの事業を打ち切るのか。

【市長】 経済情勢が厳しい中、できるだけ早期に実施したかったのだが、まずは中長期的に持続可能な財政運営の礎を整える必要があると考え、「和泉再生プラン」を策定することで「足腰の強い行財政基盤の確立」に向けた道筋を議会(皆様)にお示しさせていただいたところである。また、その上で庁内において関係部局や幹部の検討を踏まえ財政的な見地から恒久的な実施は困難と判断し、上下水道料金について平成23年度の単年度実施とした。

定業務施設地区」において、計画面積の約97%が処分されている。一方、商業系施設を中心とする「その他公益的施設地区」は、大型電気量販店が Outcome されるものの計画面積の約8%の処分にとどまっており、施設立地が非常に厳しい状況である。このようなことから、早期の施設立地が図れるよう現在の土地利用計画の一部を見直し、工業系・商業系の施設が立地できる複合的な土地利用が可能となる都市計画の見直し等について取り組んでいきたい。また、早期に施設の立地を図るため、「和泉市企業誘致促進条例」に基づき、奨励金制度を積極的にPRし企業誘致に取り組んでいきたい。

(仮称) 債権管理条例について

日本共産党

矢竹 輝久 議員

【議員】 滞納債権の徴収強化に努めるとともに、債権管理を適正に行うための基準として条例の制定に取り組むとのことだが、条例化することによって何をどのようにしていくのか。

【市長】 市の債権は、自力執行権のある市税や公課、裁判所の手続きによる自力執行権のない債権のように様々なものがある。従来、こうした債権の管理について非効率的な面が見られたので現在、滞納債権の徴収一元化に取り

「和泉再生プラン」について

レインボー いずみ

大橋 涼子 議員

【議員】 この4月より始まるプラン実行一年目は、効果額5億7,000万にに対し、予算案効果額は6億3,600万となっている。その内容は、建設事業費を大幅に増額し、指定管理者制度導入で増額分を抑えたとした、数字合わせをしたものとなっている。これで5カ年計画は着実に進められるのか。仮に計画との乖離が生じた場合、いつどの時点で見直しを行うのか。また23年度は、上下水道料金10%減額の実施及び市民税10%減税の準備を進めてい

組んでいる。この条例については、市の責務を明文化するとともに、債務不履行があるときは督促、強制執行及び納付の猶予などの措置について、一定の基準を定めていきたい。また、債務者の資力を勘案しながら回収の見込みがない場合には、一定の基準をもって債権を放棄し債権管理業務の効率化に努めることも規定していきたいと考えている。条例制定の目指すところは、債権の発生から消滅に至るまでの基本的な基準や必要な事項を示し、債権を適正に管理することである。

【議員】 いずれにしても具体的な内容は、条例化の段階で議論になると思うので今後も注視していきたい。

く年度である。特に財源担保を持たない減税は、実施年度に減税額に見合う財政効果を生み出す必要があると言われる。運用方法も示さず導入する給与改定等の実質効果が表れるのは、減税実施年度と重なる。公約実施を前提としたプランになっていないのか。

【市長】 プラン目標実施への工程を細分化し、進捗管理を徹底して着実に実行していく。また、公約の財源確保を主な目的としたプランではない。

【議員】 財政再建のみを目的としたプランなのか疑問である。職員一丸となり市民へ安心や希望を届けるために本来に必要なものを熟考すべきである。

常任委員会審査報告

今回の委員会における質疑・答弁を要約して掲載しています。

総務安全委員会

和泉市自治基本条例制定について

【委員】この条例が制定されれば9月1日から施行されることになるが、それまでの間どのような準備を進めていくのか、そのスケジュールを教えてください。

【理事者】啓発冊子の作成やフォーラムの開催、議員及び市民へ周知するためのパンフレットの作成や職員の研修などがある。それと同時に市役所内で推進体制を立ち上げ、そこで条例の整合性を図っていく作業もある。それ以上の詳細なスケジュールについてはまだ決まっていない。

【委員】理念条例といいながら、この条例を礎にして「協働」でまちづくりをしていくという覚悟を示すのであるならば、市民にいかに関心を持ってもらうかによって今後の運用が変わってくるであろうと考えている。実際に運用されるまでに小学校校区で市民と話し合う機会を設けていただくことを要望する。

都市環境委員会

泉北環境整備施設組合規約の変更について

【委員】泉北環境整備施設組合分担金の3市の負担割合の見直しについての考え方は。分担率変更に伴う本市の負担を22年度に遡及する理由は何か。今後の取り組み方針は。

【理事者】泉北環境整備施設組合のごみ処理施設等の分担金については泉大津・高石・和泉市で均等割と搬入量割は21年度は4対6であったものを本年度は3.5対6.5に改正しようとするものである。本市は、ごみ焼却場を共同運営する方が各市単独で運営するよりスケールメリットがあることから、均等割は残していく考えである。また、3市の費用負担は分担金だけでなく、収集品目の統一化や下水道事業の負担も含め調整していたが、均等割の取扱いについて協議が進まなかったため、この時期になった。今後、議会には十分情報を伝え、また意見を伺いながら、市の考え方をもち、3市での協議に臨みたい。

厚生文教委員会

損害賠償の額の決定及び和解について（交通事故）

【委員】全治どのくらいと診断されているのか。
【理事者】当初7日間という診断書が出ている。
【委員】治療期間が長くなった理由は何かあったのか。
【理事者】診断書にはそのようなことは書かれていない。

【委員】事故を起こしたこと自身、市に責任があると思うが、治療期間が長くなったことに対する補償が正確なものかどうかという検討に市が関わるのか。それとも保険会社が認めればそのまま治療を続けるということになるのか。
【理事者】事故処理については全国市有物件災害共済会が対応している。

【委員】共済会が経過をずっと観察しており、その結果、このようになったと判断したのだろう。公用車を運転する時は自分の車とは全てにおいて違うと思うので、重々注意して常に緊張感を持って運転していただきたい。

議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●和泉市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について	総務安全 常任委員会	可決 (全会一致)
●市道路線の認定について (室堂町21号線ほか24路線)	都市環境 常任委員会	可決 (全会一致)
●損害賠償の額の決定及び和解について (交通事故)	厚生文教 常任委員会	可決 (全会一致)
●平成22年度和泉市一般会計補正予算 (第5号)	各所管 常任委員会	可決 (賛成多数)
●公の施設の指定管理者の指定について (和泉中央駅前北自転車等駐車場)	予算審査 特別委員会	可決 (全会一致)
●和泉市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	予算審査 特別委員会	可決 (全会一致)
●平成23年度和泉市一般会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市国民健康保険事業特別会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市市街地再開発事業特別会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市介護保険事業特別会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市和泉診療所事業特別会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市水道事業会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市公共下水道事業会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成23年度和泉市病院事業会計予算	予算審査 特別委員会	可決 (賛成多数)
●その他、議案11件、議員提出議案2件、報告8件、監査報告10件、人事案件1件、意見書3件がそれぞれ可決等されました。	報告 監査報告	報告8件、監査報告10件、人事案件1件、意見書3件がそれぞれ可決等されました。

平成23年度の一般会計予算は589億円

予算審査特別委員会を3月8日～15日に開催し、

平成23年度各会計予算及び予算関連議案について

審査を行い、すべて原案どおり可決しました。

◆ 委員会構成 ◆

◎は委員長、○は副委員長、委員は議席順に掲載

◎吉川 茂樹	○知覧 正勝	友田 博文
石原日出子	服部 敏男	矢竹 輝久
岡 博子	小林 昌子	浜田 千秋
西口 秀光	辻本 孔久	杉本 淳

* 予算審査特別委員会での質問項目 * (ここでは一部を掲載)

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| ◇人権文化センター使用料について | ◇北信太駅自由通路化事業について |
| ◇市政情報発信事業について | ◇南部リージョンセンターに隣接する消防分署の設置について |
| ◇庁舎整備事前調査委託料について | ◇特認校バス委託料について |
| ◇北部地域公共施設整備検討委託料について | ◇中学校武道用備品購入について |
| ◇南部リージョンセンターの各種団体の使用料について | ◇学童保育時間の更なる時間延長について |
| ◇敬老祝い商品券について | ◇青少年センター子育て支援事業について |
| ◇乳幼児医療費助成の条例改正について | ◇池上曾根史跡公園での立木・魚鱗の修理について |
| ◇地域子育てサークル活動支援事業補助金について | ◇図書館管理運営事業について |
| ◇病院事業会計への「補助金及び貸付金」について | ◇図書館書籍の除籍基準、処分方法の問題点について |
| ◇ヒブ、小児用・高齢者用肺炎球菌、子宮頸がんワクチン接種について | ◇ジェネリック医薬品の差額通知について |
| ◇泉北環境整備施設組合分担金について | ◇介護保険制度による住宅改修について |
| ◇いずみ霊園管理運営事業について | ◇介護保険料の所得段階の細分化について |
| ◇区域外上下水道料金10%減額補助金について | ◇認知症高齢者に対する施設介護サービス給付事業について |
| ◇まむしの危険対策について | ◇介護保険施設の整備計画について |
| ◇観光情報ステーションの今後のあり方について | ◇和泉診療所のあり方について |
| ◇産業・観光振興事業について | ◇上下水道料金10%減額について |

討論

本会議最終日の委員長報告
に対する一般会計並びにそ
の他会計の討論を一部要約
して掲載します。

一般会計予算

【反対討論】大阪府人権協会への負担金支出は止めるべきである。和泉市人権協会助成金については、協会に対する補助ではなく、事業費補助に切り替えるべきだと考える。また、南池田保育園を民営化するための保育所移管選考委員会委員報償費が計上されており、民間保育園の役割は承知しているが、公立園は公立で総合園化すべきと考える。

【反対討論】いずみ市民活動支援事業は、市民が自発的に支援したい市民活動に投票するのが本来であり、お願いしてお金を集めるような趣旨ではなく、投票が沢山集まったことで内容の良し悪しが決まるということにはならない。これで本当に市民活動支援と言えるのか、疑念を抱く。また、北部地域公共施設整備事業について、信太山及び惣ヶ池湿地帯はもはや和泉市だけのものではなく近畿全体の文化財であり、スポーツ施設はこ

こでなければならぬということはない。せめて1年間でも市民会議をし、基本構想を作成したうえでコンサルタントに委託すべきである。

【反対討論】上下水道使用料10%減額に関連する予算がくみこまれた来年度予算が上程された。市長は、3月11日に発生した東日本大地震を目の当たりにし、上下水道使用料10%減額は今回見送り、災害対策を最優先したいと関連する2本の条例を取り下げた。条例と予算は一体であるべきなのに予算はそのまま残されている。条例を取り下げるのであれば、予算を再上程するなど他の方法をとることもできたはずである。また、市長は公約実現と「再生プラン」は別のものといえながら、結果的には「再生プラン」で生み出された効果額が注ぎ込まれるものになっている。

【賛成討論】新たな行財政改革「和泉再生プラン」の計画初年度というところで、その達成に向けて積極的に取り組んでいくという意気込みが感じられる。まず、子育て支援の充実として乳幼児等医療助成費については、入院が小学校6年生まで拡充となったこと、子育て中の保護者の集いの場である「いずみエンゼルハウス事業」の拡充、本市南部

地域における民間総合保育園の整備などが挙げられる。また、教育施策では英語指導助手の増員、留守家庭児童会における時間延長や南松尾小学校での本格設置など、教育全般の環境づくりに対して取り組み、効果的な予算配分がなされている。

その他会計予算

◇和泉市公共下水道事業

本市のような厳しい財政状況の下では、財政的な見地から十分な検討を重ねた上で下水道計画をたてるべきだと考えるが、長期の財政シミュレーションもなく事業を行うという根拠が、毎年10億円の事業費があることよって、今後20年あまりをかけてやるというものでは説得力がない。これでは、今後の下水道料金の値上げは必至といわざるをえない。下水道拡大事業は一般財源からの繰り入れも必要とするものであるのに、今後の下水道料金の推移予測も示されないような計画では容易に賛成できない。

◇和泉市病院事業

昨年度に引き続き、一般会計から13億円という多額の補助金と貸付金を投入す



12人の議員が 一般質問

第1回定例会で行われた一般質問の内容をここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

罹災証明に関する一連の流れについて

浜田 千秋 議員

【議員】不幸にも火災等により自宅等が燃えた場合、市としてどんな支援があるのか。

【理事者】消防の罹災証明があれば、生きがい健康部をはじめ、税務室、こども部、都市デザイン部等、多くの課で被害の程度により災害見舞金の支給実施や税金の減免措置、住宅補修の貸付制度、民間住宅の家賃補助や市営住宅への無償一時入居などの支援があ

る。

【議員】罹災者に渡す書類の中に、理解しにくい表現や言葉がある。昔作ったままの書類を何の違和感も無く使い回していないか、関係する課が一堂に会して話し合い、受け取る側の立場に立って再度見直して、リニューアルして頂く事をお願いする。罹災者が来庁されたら、スムーズな事務手続きが出来るように協力し、また、罹災者を受入れる市営住宅に関しては、受入れる限りはその日からせめて暮らせる様に必要最小限度の整備を要望する。

紙ゴミの削減について

須藤 洋之進 議員

【議員】焼却される日常ごみに、紙類が約40%混ざっているとのことだが、再利用や焼却量を減らすために、紙ごみの集団回収活動を推進する必要がある。また、市民に対しごみ減量の効果を具体的な数字でアピールすべきである。

【理事者】紙箱・包装紙・パンプ等の「紙ごみ」を奨励金の交付対象に加え、日常ごみに混入される紙類の減量に重

北部地域について

柏 富久蔵 議員

【議員】地元の人たちが和泉市とJR西日本に何年も前から要望してきた北信太駅西口の改札口設置と自由通路が平成23年度から事業に着手されるところのことだが、予定を教えてほしい。

【理事者】工期は平成23年秋頃から3月末頃の予定である。

【議員】北信太駅西側では、葛の葉町区画整理事業の第1期が平成16年に、また第2期が平成20年に完成して既に3年が経ち、百世帯以上が住み着いて、子どもたちがかなり増えている。特に南一番踏切の50cm程しかない狭い歩道は信太小、信太中へ通う子どもたちと、逆方向からは信太高校の学生が同じ時間に通る上、鶴山台方面から国道26号線に向かう車も多く、事故がないのが不思議なくらいである。交通安全のため、なるべく早い開通を要望する。

【その他の質問項目】

- ・公共サービス公社について
- ・「ちょいず」について

【議員】紙ごみを分別することの効果額はどれほどか。

【理事者】焼却費用は分別目標が達成された場合、年間約5千5百万円の削減と推計する。

【その他の質問項目】

- ・職員の賞罰について
- ・とある人の一年の軌跡

和泉府中駅前商店街への積極的な活性化支援策について

知覧 正勝 議員

【議員】和泉府中駅前商店街への積極的な活性化支援策で、現在、取り組んでいる商店街活性化事業は。

【理事者】商店街活性化事業としては「和泉まちなか商い塾運営委員会」を設置し、新たな創業者の育成と創業支援を行い、また、「和泉市商店街活性化支援運営委員会」において割引クーポンの発行や集客イベントを開催している。

【議員】イベント等が一過性でなく、次に繋がる事業を期待すると共に新たな事業として、「味で勝負する」という飲食業の成長を見込み、専門店街へ特化する事についてはどうか。

【理事者】専門店街への特化は各店舗が個人所有であることから直接的な介入は難しい。【議員】和泉府中駅舎の完成までの二年間で積極的な施策を希望する。

■その他の質問項目
新学習指導要領にかかる暗唱用教材集「ことのは」について

横尾川ダム中止を受けて

小林 昌子 議員

【議員】横尾川ダムが中止されたが、市長の考えは。

【理事者】中止は非常に残念である。65mm対応で床下浸水を許容してどうして安全なまちづくりが出来るのか疑問である。地元との信頼関係がなくなった状態で、どのように治水対策を進めていくのか不安を持っている。知事には地元との信頼関係を再構築し、一年でも早い河川改修を実現してもらいたい。

【議員】市長はダムを作るの

市立病院について

山本 秀明 議員

【議員】市立病院が進めている「公立病院改革プラン」では、計画期間中に一般会計からの繰り入れが約一〇〇億円予定されている。市が約一〇〇億円の債務を負っているとの認識で間違いないか。

【理事者】議員のご指摘の通りである。

【議員】市立病院の財政健全化のため、約一〇〇億円もの市民の税金が注ぎ込まれていく事、公立病院の義務である

危機管理について

金児 和子 議員

【議員】危機管理室が設置された平成19年の大綱質疑で災害等緊急事態の発生をいち早く住民に知らせ、避難誘導するための屋外スピーカー付き同報系防災無線の必要性を訴えたが未整備である。東日本大震災でも放送を聞いて緊急避難し助かった方も多い。府下市町村の整備状況はどうか。

【理事者】MCA無線も含め、府下で無いのは能勢町、豊能町、千早赤阪村と和泉市である。

「東日本大震災」への市としての対応について

早乙女 実 議員

【議員】「東日本大震災」への和泉市としての対応と、地域防災計画や被害想定の見直し、対策本部機能の分散化、物資の備蓄状況、職員派遣への考えを聞きたい。

【理事者】対策本部を設置し、義援金受付、市営住宅の無償提供、府を介して、また市独自の支援物資搬送を実施。今後も要請物資などで応援したい。「地域防災計画」は現在

【議員】和泉市全域に防災無線を設置すると幾らかかるか。

【理事者】約3～5億円。MCA無線なら約1～2億円だが回線の輻輳や通話制限等がある。

【議員】地震が南下するとの話もあり南海地震が心配である。防災無線の整備について市の考えは。

【理事者】今回の震災を目の当たりにし、防災行政無線の役割の重大さを痛感。整備には財源の裏付けを要するが、積極的に取組んでまいりたい。

■その他の質問項目

・消費生活相談事業について
・バイオスタウン構想について

見直し作業中で、被害想定は気象庁データを元にした大阪府計画の見直し後となる。機能分散も検討の一つと考える。アルファ化米・カンパン・粉ミルク・毛布・オムツは備蓄目標分を確保していたが、今回提供したので至急補充する。消防、水道や建築、土木、福祉等、専門分野職員の派遣要請には、できる限り応えたい。長期化も視野に入れ、日常業務に支障ないよう全庁的に対応したい。

■その他の質問項目

・「道路・交通」問題について
・学校「備品」について

災害時の飲料水確保と料金の軽減について

藤田 充 議員

【議員】 今回の震災では、被災地は飲料水でも苦慮している。市長は今回の震災を機に、上下水道料金10%減額議案を取り下げた。

今後の水資源の確保や災害に強いパイプラインの構築、自己水確保による単価抑制は、市民生活を守る上でも重要であり、ひいては料金の減額、災害時の安全対策に結びつく。その考えは。

非正規職員の問題について

大橋 涼子 議員

【議員】 非正規職員の比率と中に占める女性の割合は。

【理事者】 39.3%で内、女性は88.4%となっている。病院は全体で23.6%である。

【議員】 増えているが、今後どこまで増やすのか。

【理事者】 今後は増えることがないようにと考えている。

【議員】 短時間公務員制度の導入を検討しているか。

【理事者】 引き続き検討して

【理事者】 自己水の拡張・増量を図るには、多額の設備投資が必要となり、府営水道の動向を見極めるとともに、今後の課題としてあらゆる方面から調査検討を行う。

また、地震等被災時における生活用水の確保については、施設により一層の耐震化も含め、貯水量の増量を図る。

一方、自己水については、現有の施設を維持管理しながら、処理能力の水量を確保し安価な水道水をつくるよう努めていく。

いく必要がある。

【議員】 今や非常勤職員なくして自治体サービスが届けられない状況にあるが、正規との待遇格差は大きい。育児・介護・看護や夏期などの休暇は、労働時間に比例して保障すべきである。各種手当てや退職金などからも結果として疎外されている。まず公務労働の現場から均等待遇を実現してほしい。

■その他の質問項目
・市長公約について
・地上デジタル化対策について

要望書への回答文について

岡 博子 議員

【議員】 交通事故和解の議案は公開されているのに、60万円賠償議案の受領者「某氏」はなぜ非公開か。

【理事者】 議案では賠償相手が請負業者であり「某氏」は当事者ではないためである。

【議員】 口約束でも契約行為があったとみなし60万円を支払ったわけだが、契約をした相手は全て公開するのか。

【理事者】 書面で契約しているものについては公開している。

工事請負契約における、指名停止等、処分について

赤阪 和見 議員

【議員】 昨年の第四回定例会で質問した、学校関係の耐震補強工事について、その後どのような処置を行ったのか。

【理事者】 市の指名停止要綱に基づき、対象業者に対し文書による厳重注意を行った。

【議員】 入札の資料を取りに来なかったり、入札不参加の業者には一ヶ月から三ヶ月の指名停止を行っているのに、

る。

【議員】 「某氏」の場合、市民から情報公開請求があったのになぜ公表できないのか。

【理事者】 市民に注目された事案であり、「某氏」や家族に何らかの影響があると考え、知られたくない情報とした。

【議員】 『和泉北リトルリーグ関係者某氏』と、リーグ名のほうは契約も交わしていないのに当初から情報公開してきた経過からも納得できない。特例を認める前例を作らず、契約相手は全て公開すべきだ。

■その他の質問項目
指定管理者制度について

本体工事で法令を遵守していない業者が無事工事さえ終われば何のペナルティもないのはおかしいのではないか。

【理事者】 要綱、過去の事例を参考に厳重注意処分とした。

【議員】 このような前例踏襲で良いのか。

【理事者】 そのようなことのないよう、23年度から契約課を契約検査室とし、技術者を配し、しっかりと検査、監督を行っていく。

■その他の質問項目
和泉市の危機管理について

人事案件に同意

第1回定例会で、市長から人権擁護委員として次の方々の推薦があり、議会として同意しました。

ごんだ	ちはる	ひらこ	みちよ
権田	千春氏（上代町）	平子	美智代氏（小野田町）
ともや	しょうこ	ほりかわ	ふかし
友谷	笑子氏（唐国町）	堀川	不可止氏（観音寺町）

任期は、平成23年10月1日～平成26年9月30日までの3年間です。



上下水道料金10%減額条例撤回される

◇和泉市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

◇和泉市下水道条例の一部を改正する条例制定について

市長は、公約である上下水道料金の10%減額を実施するため、3月議会で上記の議案を提案しましたが、東北地方等を襲った大震災を目の当たりにして、本市における災害の対策が最重要と考え、平成23年度の上下水道料金10%減額を見送ることとし、災害対策にシフトするため、関連議案を撤回しました。

市議会ホームページのお知らせ

和泉市議会

検索



<http://www2.gikai-web.jp/izumi/index.html>

市議会ホームページでは、以下の「議会改革の歩み」や「会議録速報版」の他にも、一般質問発言通告など様々な情報を発信しています。

○議会改革の歩み…議会改革検討会議において協議した23項目の審議経過や結果をとりまとめています。

○会議録速報版…会議開催日の約一ヵ月後に校正前原稿を公開しています。その後、正式な会議録を公開した時点で削除します。

○議会中継…本会議や予算・決算審査特別委員会の様子をインターネット配信しています。

去る3月11日、国内観測史上最大の東北地方太平洋沖地震が発生し、東日本の広範囲で地震や津波による甚大な被害をもたらし、尊い命と貴重な財産が失われました。

被災された皆様におかれましては謹んでお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられました方々のご冥福をお祈りいたします。

そして、被災地の日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



傍聴のご案内

	本会議	委員会
定員	40名 (車いすスペース3台分)	7名 (音声傍聴10名)
受付時間	開会予定時刻の15分前から	
場所	議場 (入口は1号館3階税務室資産税横) ※車いすの方は、1号館4階の 市議会事務局までお越し下さい	3号館3階 委員会室

傍聴券に住所、氏名を記入いただくだけで傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

平成23年第1回定例会の傍聴者数

(本会議／傍聴者のべ人数)

2月28日～3月25日(本会議5日間) 計22人

(委員会／傍聴者のべ人数)

3月1日～3日(3常任委員会) 計6人

3月8日～15日(予算審査特別委員会) 計17人

第2回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合もありますので、詳しくは電話：0725-99-8154市議会事務局へお問合せください。

日程	会議	場所	開会時間
6月9日(木)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
6月16日(木)	本会議(議案審議)	議場	午前10時
6月17日(金)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月20日(月)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月21日(火)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月22日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
6月28日(火)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
6月29日(水)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
6月30日(木)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
7月1日(金)	本会議(議案審議)	議場	午前10時

3件の意見書を可決

◆学校保健安全法による医療費助成(歯科)の適用範囲拡大を求める意見書

◆T P P交渉参加反対を求める意見書

◆容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

各関係省庁に送付しました。